

第41回 廃炉・汚染水対策現地調整会議 議事概要

1. 開催概要

日時：平成29年11月16日（木）13：30－15：30

場所：グランパークホテルエクセル福島恵比寿 2階「さくら」

2. 出席メンバー

<政府>

武藤 容治	原子力災害現地対策本部長（経済産業副大臣）
須藤 治	原子力災害現地対策副本部長
大橋 良輔	復興庁福島復興局 次長
森川 幹生	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長
加藤 真一	環境省 水・大気環境局 水環境課 課長補佐
三野 元靖	文部科学省 研究開発局 原子力課 課長補佐
山尾 修司	水産庁増殖推進部研究指導課 課長補佐
松永 明	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局長補佐
星野 岳穂	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局長補佐
古賀 俊行	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局長補佐
比良井 慎司	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局総括
奥田 修司	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 廃炉・汚染水対策官
柿崎 恒美	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 企画官
生越 晴茂	内閣府廃炉・汚染水対策現地事務所 所長
木野 正登	内閣府廃炉・汚染水対策現地事務所 参事官
上條 仁志	福島第一原子力発電所現地事務所 所長

<規制当局>

山形 浩史	原子力規制庁 緊急事態対策監
南山 力生	原子力規制庁 地域原子力規制総括調整官
川又 修司	厚生労働省 福島労働局 労働基準部長

<東京電力>

大倉 誠	常務執行役 福島復興本社代表
増田 尚宏	福島第一廃炉推進カンパニー プレジデント
有馬 博	福島第一廃炉推進カンパニー バイスプレジデント
石川 真澄	福島第一廃炉推進カンパニー福島第一原子力発電所ユニット所長

<オブザーバー（福島県）>

五十嵐 俊夫	福島県危機管理部政策監
--------	-------------

■武藤副大臣からの冒頭挨拶

経済産業副大臣・原子力災害現地対策本部長に８月７日に就任して以来、自ら現地へ足を運び、自らの目で現場を確認することが重要と考え、継続的に現地に足を運ぶとともに、就任後すぐに福島第一原発も視察させていただきました。

また、９月２６日には、中長期ロードマップを改訂し、９月２９日には福島評議会を開始し、双方向のコミュニケーションなど、改訂内容について地元関係者の皆様に説明をしたところです。

現地調整会議は、福島第一原発の廃炉・汚染水対策の現状や課題を、現地において関係者一同で共有し、しっかりと対策をすすめていくための議論の場であると認識しております。

本日は、今年１月より進めております、３号機建屋における燃料取り出し用カバーの設置状況や、５月から９月にかけて実施したミュオン測定による炉内の把握状況について御報告を受けたいと思います。

また、８月に最後の未凍結箇所の凍結が開始された凍土壁について、温度や水位などのデータをもとに、進捗の報告を受けたいと思います。

加えて、この秋の台風による状況、最近相次いでいるサブドレン関連のトラブルに関する原因や再発防止策について御説明いただきたいと思います。

本日も忌憚のない活発な御議論を期待しております。

3. 指摘事項

➤ 資料 2-1-1

- ・ 陸側遮水壁は11月からの報道で「概ね完成」とのことであったが、そう言いながらまだ未凍結箇所があるので、しっかりと対応してほしい。
- ・ 10月の台風で地下水位が上がった原因としては、屋根の破損部からの雨水の流入などとの説明であったが、しっかりと原因究明をお願いしたい。
- ・ 凍土壁は社会的関心が高く、遮水効果等については一般の方にも分かりやすく伝えることが非常に重要になってきている。しっかりと取り組んで頂きたい。
- ・ タンクについては、しっかりと計画性をもって取り組んでもらいたい。

➤ 資料 2-1-2

- ・ サブドレンの強化については、7月の現地調整会議でも、台風期までにはしっかりと間に合うようにとお願いしたはずであったが、結局間に合わなかった。これ以上遅れないように、工程を意識し作業に取り組んでいただきたい。

➤ 資料 2-2-1

- ・ 1号機の建屋カバーの作業等、飛散防止対策については徹底をお願いしたい。

➤ 資料 2-2-3

- ・ 3号機については、燃料取り出し用のカバー等、目に見えるかたちで進捗していることが分かる。しっかりと国内外へ情報発信をお願いしたい。

➤ その他

- ・ 汚染水対策等着実に進んでいると思う。汚染水対策については県民も非常に関心が高い。8月のサブドレンの件についても県民に対し不安を与えたのは間違いない。帰還等の妨げにならぬよう、再発防止、総点検、水平展開についてもしっかりとお願いしたい。

■武藤副大臣からの締めの挨拶

県からも御意見がありましたが、分かりやすい資料作りや情報発信を心がけていただければと思います。次回も何卒宜しくお願いいたします。

4. 次回以降の日程

次回の開催時期については、決定次第事務方より連絡